

誤嚥性肺炎で入院された方へ 入院診療計画書

患者名 _____ 様 疾患名 _____ 医師 _____ 患者様用

経過	入院日 (/)	治療開始1日から4日 (/)	治療開始5日から退院(13日目)まで (/) (/)	退院後 (/)
達成目標	● 副作用について理解でき、不安なく治療を開始できる。またその対処方法・自己管理について指導を受けている	● リハビリが開始できる ● 嚥下の訓練が開始でき 状態に合わせて栄養が開始できる ● 退院先が決定する		
治療処置	● 抗菌薬を点滴します 食べられない間は点滴があります 採血結果をまず確認します。	● 発熱・下痢など体調に異常がないか看護師が確認します。	● 点滴中	
検査	● 採血 胸部レントゲン ● 検尿 検尿		● 適宜採血 レントゲンがあります。	
薬剤	● 内服薬について確認します。 	● ユナシンは抗きん剤です	● 点滴中はなるべく安静にして、点滴が漏れないようにして下さい。身体に異常を感じたら、すぐにナースコールを押して下さい。 	● 次回受診日、次回治療日、来院時間を必ず確認して下さい
安静	● 状態に合わせてリハビリを開始します			
食事	● 絶飲食です	● 嚥下機能評価後 患者様に合わせた食事が開始されます。自宅からの持込はご遠慮ください。(必要に応じて介助をします。エプロン ティースプーンなどをご用意ください)		
清潔	● 状態に合わせてお体を拭きます ● 口腔ケアは 患者様に合わせて1日3回程度行います ● 歯ブラシなどお持ちください 入れ歯がある方は、専用の洗浄剤などお持ちください	● 誤嚥予防で一番大切なのは、食事形態と姿勢です。必ず守りましょう。 	● 言語聴覚士や栄養士より、栄養手段の再検討・変更等を行います	● 入院中に行っていた体調管理や副作用の予防や対処方法を自宅でも、続けてくださいね!
尿	● オムツ・尿とりパッドなど 必要時ご準備ください			
排便	● 適宜交換します(おしり拭き)などがあればおもちください			
教育指導説明	● 入院スケジュールについて説明します 水曜日に薬剤師から説明があります	● 言語聴覚士による嚥下のリハビリが開始されます(嚥下機能評価があります) 理学療法士・作業療法士による体のリハビリが開始されます 嚥下機能評価が行われたあと、改めて医療ソーシャルワーカーからの説明があります(予約制)	● パンフレットはお持ちですか? 副作用別に、皆さんができる副作用の予防方法	● 退院後の生活について ※以下のような症状があった場合は、次回予定日を持たずに病院に受診してください 38度以上の発熱が続く ・下痢が止まらない ・食欲がなく、水分も摂取できない ・倦怠感が強くて、何もできない 次回受診時までの間に受診するかどうか迷う時や、何か心配なことがありましたら、各科外来にお電話ください。 三豊総合病院 087-5-23366

注意: 点滴スケジュールは個人毎

【点滴スケジュール】
①6時12時18時24時に
抗菌薬を投与します

点滴中はなるべく安静にして、点滴が漏れないようにして下さい。身体に異常を感じたら、すぐにナースコールを押して下さい。

【体調管理 QOLチェック表】

月日	治療当日 (/)	治療翌日 (/)	治療3日目 (/)	退院日 (/)
体温	朝 / 夕	朝 / 夕	朝 / 夕	朝
体重				
食事量				
排尿回数				
排便回数				

【体調管理 QOLチェック表の記入方法】

- ★ご自身で体調の管理が行えるように、左の項目に沿って自己体調に変化がないか記入してみましょう。
- ★体調に変化があった場合、看護師にお知らせ下さい。どのように対処したらよいか一緒に相談しましょう!



上記スケジュールは、あくまでも予定です。治療の経過によっては変更になることがありますので、ご了承下さい。以上の説明を受け、ご理解いただけましたらお名前をお書き下さい。